

環境報告書

2016年度のまとめ



とちぎ"コープ"

食卓を笑顔に、地域を豊かに。

理念

CO-OP ともに はぐくむ 暮らしと未来

私たちは、一人ひとりが手を取りあって、
一つひとつの暮らしの願いを実現します。
私たちは、ものと心の豊かさが調和し、
安心してらせるまちづくりに貢献します。
私たちは、人と自然が共生する社会と
平和な未来を追求します。

環境方針

とちぎコープは、「環境に配慮した暮らし」と「持続可能な循環型社会の実現」を目指して、コープネットグループの共通の理念とビジョンのもと、店舗・宅配における商品の供給及び取り扱う商品・サービスのあらゆる面で地球環境に配慮して行動します。

事業活動を通じ環境負荷を低減する仕組みをつくり、定期的な見直しと環境マネジメントシステムの継続的な改善によって、地球環境保全と汚染の予防につとめます。

また、環境保全に関する法規制およびとちぎコープが受け入れを決めた事項を順守します。

1. 地球温暖化防止につながるCO₂削減に取り組みます。
2. 廃棄物の削減と再資源化をすすめます。
3. 組合員とともに環境活動に取り組みます。

とちぎコープ生活協同組合
専務理事 中田 和良

2016年度の取り組み

環境方針（1） 事業活動に伴う二酸化炭素排出の削減。

地球温暖化をはじめとする地球環境問題は、人類の生存に関わる問題とされています。とちぎコープは、日本生協連の呼びかけのもとコープネット事業連合とともに「温暖化防止自主行動計画」を作成し、2020年度の二酸化炭素の排出量を基準年（2005年度）の5,313トンから15%削減し、4,516トンにする目標を掲げています。

【目的】2020年度のとちぎコープの事業活動に伴う二酸化炭素排出量を2005年度対比85.0%以下にします。

【2016年度目標】とちぎコープの事業活動に伴う二酸化炭素排出を4,665.6トン以下にします。

○ 二酸化炭素排出量の推移 CO2（トン） 電気のCO2排出係数0.423kg/kWh

主要な排出項目	2005年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
電気	3,833	3,533	3,356	3,193	3,194
電力会社変更効果 （実排出係数使用）					-48
車両燃料	1,365	1,288	1,401	1,470	1,465
LPG（事業所用）	97	55	39	35	34
灯油	17	17	12	9	10
合計	5,313	4,892	4,808	4,708	4,655

2016年度の二酸化炭素の排出量は4,654.5トンで、今年度の目標を約11トン下回る計画比99.8%で達成しました。今年度から新電力から調達した電力は当年度の実排出係数を用いて計算することになりました。約48トンの削減になりました。

【個別目標1】電力使用量を7,556,182kWh以下にします。

○ 電気使用量の推移 単位 kWh

	2005年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
店舗	7,669,956	6,008,186	5,598,556	5,278,823	5,226,384
デリ宅配	1,072,422	2,208,280	2,207,318	2,148,517	2,196,573
本部	319,449	135,218	125,779	116,809	117,521
その他		2,374	2,322	5,147	9,232
合計	9,061,827	8,351,609	7,933,976	7,549,296	7,549,710

店舗では不要な照明の消灯や事務所のエアコンの設定温度の見直しなどのこまめな節電対策の他、店舗の改装時に高効率の冷凍冷蔵庫への入替えや冷気が逃げにくいリーチインショーケースの導入などを行っています。デリ宅配センターではドライアイスの代わりに冷凍蓄冷材凍結庫を導入したことにより基準年より増加しています。また西那須野センターと壬生センターに続き新設の芳賀センターにも太陽光発電装置を設置し、発

電した全量を自家消費することで、購入する電力を削減しました。本部はコープネット事業連合に業務委託し、人員を削減したために減少しました。今年度の電気使用量目標は達成しました。

【個別目標 2】自前配達車両燃料の使用量を 178,410 L 以下にします。

○ 車両燃料使用量の推移 単位 L

燃料種別	2005 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
ガソリン	59,568	115,896	152,964	159,301	148,378
LPG	59,364	0	0	0	0
軽油	429,510	388,132	398,634	419,335	427,114
内自前配達分	230,942	139,131	145,516	153,787	166,136
BDF	0	78,224	52,050	37,440	17,939

ガソリンの使用量はディーゼル車の拡大によって増加傾向でしたが今年度は減少に転じました。軽油は 2008 年にバイオディーゼル燃料（BDF）車両を導入したため一旦は減量しましたが、新型車両で不具合が発生したため、リースアップ等の入替時に軽油車両に戻しているため増加傾向になっています。バイオディーゼル燃料を使用する車両は 2017 年 3 月末で 11 台となっています。

エコドライブの実践による燃費の向上と、地図システムを活用した配送コースの見直しによって走行距離の短縮に努めています。

環境方針（2） 廃棄物の削減と再資源化

【目的】廃棄物の削減と再資源化を進めます。

【2016 年度目標】事業系一般廃棄物の排出量を前年実績以下にします。

単位(kg)	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
合計	142,170	145,849	137,357	128,184
宅配	31,392	31,814	32,052	31,822
SM	95,710	101,460	94,730	85,710
ミニ	13,778	11,265	9,265	9,152
本部	1,290	1,310	1,310	1,500

とちぎコープ全体では計画を達成しました。SM 店でプラスチックの分別が進み大きく排出量を削減しました。

【事業活動で排出する廃棄物の発生抑制と再資源化の推進】

単位:トン	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
魚腸骨	30.0	32.7	37.0	41.3	44.3	35.6
廃食用油	11.7	11.7	12.4	15.5	14.8	16.5
生ゴミ	117.0	123.1	103.4	102.9	118.0	120.2
魚箱	8.2	7.1	6.4	7.5	7.0	6.4
ダンボール	386.0	377.4	368.1	394.6	407.9	383.4

事業の伸張とともに発生量が増加傾向にありますが、基本的に全量をリサイクルしています。食品廃棄物では、魚腸骨は家畜の飼料に、廃食用油はインクや飼料・BDFなどに、リサイクル利用されています。生ゴミから作られたたい肥で育てた野菜を越戸店で販売する「リサイクルループ」を行っています。

【レジ袋の削減】

店舗では栃木県との協定を締結し、全店でレジ袋を有料化しています。マイバッグ持参の取り組みを進め、持参率は82.4%になりました。レジ袋の販売代金の一部はNPO法人「足尾に緑を育てる会」に、植樹の苗木代として寄付しました。

環境方針（3）組合員とともに取り組む環境活動

【目的】環境活動に参加する組合員を増やします。

【2016年度目標】リサイクル品の回収量を2015年実績に対し5%増やします。

【組合員さん参加のリサイクル】

		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
回収量合計（トン）		1,903.4	2,093.4	2,236.7	2,439.9
内訳	ペットボトル	42.0	41.2	43.7	43.6
	トレイ	6.4	8.0	8.2	7.8
	資源紙	1,748.0	1,953.9	2,097.0	2,297.0
	紙パック	61.7	49.9	49.6	49.2
	アルミ缶	5.6	7.1	7.6	7.6
	卵パック	7.7	8.2	6.0	7.3
	シッパー内袋	31.4	25.0	24.5	27.4

コープデリ宅配ではリサイクルの案内チラシを2回配布し、また担当者ニュース等でもお知らせを強化しました。ペットボトルとハピデリなどの商品案内チラシの回収量が増えて合計で前年比9.1%増となりました。

【その他の環境活動】

「みんなでスイッチオフ～100年後の地球のために私たち一人ひとりが今できること～」をテーマにホームページや機関誌で身近な家電のスイッチオフを呼びかけました。足利ブロックでは田んぼの学校をNPO法人「名草里山の会」とともに開催し、のべ47家族169名が参加しました。農業体験や自然観察を行い、環境や自然の循環、食育について学びました。「我が家のグリーンカーテン大作戦」は2年目となり27名の組合員さんから応募をいただきました。

「ECOテック&ライフとちぎ2016」に栃木県生活協同組合連合会の一員として参加しました。環境クイズや環境配慮商品の展示などを行いました。栃木店・おもちゃのまち店・越戸店でどんぐりや木の枝を使って置物などを作るネイチャークラフト（自然工作教室）を開催しました。

その他の主要パフォーマンス項目の進捗状況

【環境配慮商品の普及】

環境に配慮した商品の取り扱いの拡大、情報提供の強化、ご利用の拡大を推進します。

組合員のみなさんに、積極的に環境に配慮した商品を提供すること、及び、それらの商品や環境に関する情報を提供することなどを、とちぎコープの事業活動において、環境に有益な影響を及ぼす課題として取り組みをすすめました。

	当年度	前年度	前年度比	増減
点数（点）	1,291,145	1,070,199	120.6%	↑
金額（千円）	457,740	369,093	124.0%	↑

対象商品：①日生協「環境配慮商品」（環境に配慮した食品含む）、②日生協「ちょこっとエコ商品」、③エコマーク商品、④グリーンマーク商品、⑤再生紙Rマーク商品、⑥PETボトルリサイクル推進協議会マーク、⑦飲料品紙容器マーク商品、⑧JAS有機農産物表示と特別栽培農産物に関わる表示ガイドラインに基づき生産された農産物、⑨上記以外の環境配慮商品（コープネット環境配慮商品、無洗米などでコープネットで認定したもの）⑩カーボンフットプリント商品

【グリーン購入】

資源や資材の無駄な使用をなくし、使用する資材は積極的にグリーン購入を進めます。

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
購入率	88.1%	92.0%	98.1%	99.4%

事務用品や文具、事務所等での消耗品を購入する場合には環境に配慮した環境ラベルなどが張ってある商品を積極的に選択するグリーン購入に努めています。グリーン商品を対象としたグリーン購入比率が90%を超える状況となったので、この状態を維持できるよう確実に運用管理していきます。

【エコキーパー事業所】

栃木県では、事業所における自主的な地球温暖化対策を推進するため、事業活動において地球温暖化対策に関し優れた取組を実施している事業所を「エコキーパー事業所」として認定する制度があります。とちぎコープではスーパーマーケット4店舗が3星ランクで認定されています。

環境マネジメントシステムに関すること

環境マネジメントシステムを本来業務システムの一環として推進しています。

【従事者の教育・訓練】

とちぎコープEMSガイドブック2016年版を作成し、定期教育を実施しました。7月末までに全事業所で終了しました。また、「エコドライブ10のすすめ」の実践状況やエコ運転の知識をチェックするチェックシートを配布し760名の職員から協力がありました。「ふんわりアクセル」「ゆとりを持った車間距離」「減速時のはやめのアクセルオフ」など多くの人が実践していると回答しました。

【コミュニケーション】

組合員のみなさんのご意見・ご要望は、「組合員の声」担当部局が中心に管理しています。業務に関連するものはそれぞれの担当部局、環境が中心のものについては環境マネジメント事務局が対応し、回答が必要なものについてはすべて回答しています。

2016年度は、行政等への報告や、住民へのお知らせが必要となる重大な事故はありませんでした。

【内部環境監査】

2名の内部環境監査員を新規に任命し、総数35名で18部署の監査を実施しました。重大な不適合および軽微な不適合はありませんでした。観察指摘は5件(前年16件)についてはそれぞれ是正処置および是正項目の有効性を確認しました。推奨指摘は6件(前年4件)、プラス評価が6件(前年7件)ありマネジメントシステムの改善につながっています。

【法令の監視と順守状況】

日本生協連の「環境ニュースレター」や、法令関係のホームページにより情報を入手し、新しい法律や、法令の改定を監視しています。県・自治体の条例については、ホームページや担当職員へのヒアリング等を通じて、最新情報の把握に努めています。

浄化槽の管理や廃棄物の保管・処理など、日常の管理が必要なものについては、月々の進捗管理の中で実施状況を管理しています。産業廃棄物マニフェストは、産業廃棄物排出事業所で発行し、発行後は総務と環境マネジメント事務局で管理しています。容器包装リサイクル法については、指定法人と再商品化委託契約を結んで対応しています。食品リサイクル法および省エネ法の定期報告を行っています。その他の法令・条例およびその他の要求事項についての順守状況については、毎月の部長会で報告し不適合が無かったことが確認されています。

【とちぎコープの概要】

(2017年3月現在)

理事長	古口 葉子
組合員数	247,518人
出資金	72億4623万円
事業高	271億1787万円
職員数	正規245人、 定時644人

事業所

○ 配送センター 7ヶ所

西那須野センター（那須塩原市）
芳賀センター（芳賀町）
日光センター（日光市）
宇都宮センター（宇都宮市）
壬生センター（壬生町）
小山センター（小山市）
足利センター（足利市）

○ ミニコープ 4店舗

コープ矢板店（矢板市）
コープ城東店（小山市）
コープ野木店（野木町）
コープ富岡店（佐野市）

※売り場面積50坪タイプの小型店

○ スーパーマーケット（SM店） 4店舗

コープ越戸店（宇都宮市）
コープ鶴田店（宇都宮市）
コープおもちゃのまち店（壬生町）
コープ栃木店（栃木市）

※生協直営の売場面積450坪タイプのスーパーマーケット

○ とちぎコープ本部（宇都宮市）

発行日 2017年9月21日

とちぎコープ生活協同組合

環境管理責任者 黒須 正文

〒321-0195 栃木県宇都宮市川田町 858

T e l (028) 634-5115 F a x (028) 634-5114